



出発式前のJR登別駅



Nゲージ展



エビ汁の無料振る舞い



写真展

S Lの勇姿に 歓喜の声

『SLみなと室蘭140周年号』運行

5/
19-20

5月19日(土)・20日(日)、室蘭港開港140周年、室蘭本線開業120周年を記念して『SLみなと室蘭140周年号』がJR登別駅からJR室蘭駅までを運行。始発駅のJR登別駅には、乗車券を手に入れた人はもちろん、SLの雄姿を一目見ようと、カメラを抱えた人や、家族連れなど、2日間で市内外から1千人を超える人が集まりました。

登別駅ホームで行われた出発式では、コロポックルの森の園児から『SLみなと室蘭140周年号』の機関士と車掌への花束贈呈や来賓によるテープカットなどが行われました。

また、登別市観光PRキャラクターである登夢くんや湯鬼神などのキャラクターが集合し、出発式を盛り上げました。

そして、19日は登別中学校吹奏楽部、20日は陸上自衛隊幌別駐屯地の北海自衛太鼓の演奏に見送られながら『SLみなと室蘭140周年号』は約200人の乗客を乗せ、11時1分に登別駅を出発していきました。

沿線では、普段見ることができな

いSLをこの目で見ようと多くの人が集まりました。

また、登別駅前地区ではさまざまな記念イベントが開催され、大勢の人が足を運びました。

駅前特設会場では、記念グッズの販売や、登別漁港で水揚げされた新鮮な海産物を販売する『登別海鮮直市』、登別漁港で水揚げされたエビを使用したエビ汁の振る舞いなどが行われ、どの場所でも商品を求める長い列ができていました。

『エネルギーショップ東川倉庫』で行われた『ブラレール』を築しよう!では、子どもから大人までが自慢の『ブラレール』と線路を持ち寄り、大きなレールを作って走らせました。

『鬼なびステーション登別』では、昭和50年ころのSLや駅の様子などを撮影した写真を展示した『写真展』『ワカキ玩具店』では日本工学院北海道専門学校協力のもと精密な鉄道模型を実際に走らせる『Nゲージ展』なども行われ、鉄道ファンは目を輝かせていました。